

盆踊り

Bon odori

夏祭りには欠かせないもののひとつ、盆踊り。やぐらを囲んで大勢で輪になって踊る姿は、美しい日本の伝統文化・民俗芸能です。大勢が同じ動きで踊る様や美しい浴衣の柄など、盆踊りの魅力は日本だけにとどまらず、海外でも話題になっています。盆踊りは、今や大きなイベントとしても親しまれていますが、元々は神聖な行事でもありました。大人から子どもまで、大勢が一体となって楽しめる、そんな盆踊りの魅力を紹介します。

【協力】 一般社団法人 日本盆踊り協会

【住所】 〒170-0013 東京都豊島区1-34-5 いちご東池袋ビル6F 【HP】 <https://bon-odori.net/>



1 盆踊りの起源と種類

盆踊りの起源は約千年前、旧暦の7月15日に盆踊りを行い、祖先を弔うために行われた行事。

また、豊作祈願を目的に行われたものが起源ともいわれています。江戸時代には、現代のような祭りの行事として変化していきました。

盆踊りは日本各地に広まり、その地域の文化と共に、多くの種類が生まれ、正確な盆踊りの種類は数えきれないほどです。その種類は、大きく「伝統系盆踊り」と「現代系盆踊り」に分けられます。それぞれの種類でも「伝統系盆踊り」には、伝承系盆踊り、伝統進化系盆踊り、民謡踊りに分けられ、「現代系盆踊り」は新民謡、歌謡舞踊・新舞踊、J-POP系・洋楽系・アニメ系盆踊りの3種類となります。

●伝統系盆踊り

- ・伝承系盆踊り・・・鎌倉時代からあるともいわれている西馬音内(にしもない)盆踊りや江戸時代からある郡上(ぐじょう)踊りなど、現在でも特定の地域で伝わっている盆踊り。
- ・伝統進化系盆踊り・・・伝統がありながら、変化を取り入れて進化した盆踊り。阿波踊り、河内音頭など。
- ・民謡踊り・・・地域の民謡が盆踊り唄として全国に伝わったもの。炭坑節、相馬盆唄など。

●現代系盆踊り

- ・新民謡盆踊り・・・大正時代に起こった新民謡運動をきっかけに、地域の盆踊りとして作られたもの。東京音頭など。
- ・歌謡舞踊・新舞踊盆踊り・・・歌謡曲や演歌、民謡長音楽に合わせた盆踊り。近年のヒット曲など。
- ・J-POP系・洋楽系・アニメ系盆踊り・・・アニメのオリジナルで作られたものや、流行曲に合わせて作られたものなど。

2 日本三大盆踊り

さまざまに分類される盆踊りですが、その中で日本三大盆踊りといわれるのが、国指定重要無形民俗文化財指定の秋田県羽後町「西馬音内盆踊り」や、7月中旬から9月上旬まで30夜以上にわたり開催される岐阜県「郡上踊り」、5時間にわたって大通りで踊り続ける徳島県「阿波踊り」です。これらは江戸時代以前から続く「伝統系盆踊り」に分類されます。そのほかにも、運動会でも演目の定番となっている北海道のソーラン節、沖縄県のエイサーも伝統系盆踊りのひとつです。

盆踊りが生まれた背景や特徴が異なるのも、盆踊りの魅力であ

り、日本人だけでなく、海外からの観光客にも人気のイベントとなり、町おこしとしての要素もあり、古きよき伝統を残しつつ、時代に合わせて進化しています。

3 誰でも参加できる盆踊り

盆踊りは誰でも参加できるイベントです。地域のお祭りで行われているものは、飛び入りで参加している方も多くいます。

盆踊りは難しい動きはなく、1曲の中で同じ振りを繰り返します。そのため、最初は踊り方を知らなくても、輪に入って見よう見まねで体を動かしているうちに、動きを覚えていくものです。そうすることで輪の一体感が生まれたり、年代を超えた交流が生まれたりすることもあります。

また、多くの盆踊りには決まった服装があるわけではなく、浴衣で参加する人、洋服で参加する人さまざまです。盆踊りのマナーとしては、踊りながら輪を移動していくので、手荷物は最小限にとどめておいた方がいいでしょう。参加するときは、曲が終わった時に輪に入ることがベストですが、曲の途中から参加する場合は、輪の外側から周りの動きに注意して入るようにしましょう。そして、一番大切なのが「楽しむこと」です。踊りが完璧にできなくても、下手でもまったく問題ありません。楽しむことを一番に考えて参加しましょう。

※地域によっては地元住民や特定の人たちしか踊れない盆踊りもあるのでご注意ください。

4 新しい盆踊りの形

盆踊りの音楽は、笛や太鼓が奏でる囃子のほかに民謡などが使われてきました。しかし近年では、アニメソングやJ-POP、洋楽なども盆踊りの曲として使われることもあります。それだけでなく、DJ盆踊りなども新しい文化としてイベントが行われ広まっています。大人だけでなく子どもや海外の方にも受け入れやすい曲を使うことで、新しい形の盆踊りが生まれてきます。こうした新しい文化を取り入れることで、進化し続け、若い世代の踊り手も増えて、「盆踊り」としての伝統が守られていくのです。

夏祭りには欠かせない盆踊り。大きなイベントで観覧しているだけでも楽しいものですが、見てだけでなく、ぜひ踊りに参加して夏を楽しんでみてはいかがでしょうか。